



生コーヒーエキス

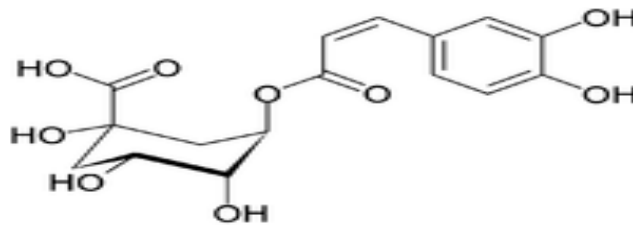


1、 品名：生コーヒー豆エキス

2、 原材料の由来・植物名・英語名

生コーヒー豆 (Green coffee bean) ・ Green coffee extract

3、 主成分組成および化学構造



クロロゲン酸

4、 研究の現状および有用性

- 利尿作用
- ドライアイ改善
- コレステロール値を下げ、動脈硬化の予防・改善に貢献する
- 抗酸化作用で美肌作りに貢献する
- 満腹中枢を刺激するので空腹感で食欲を抑制できる
- 血糖値の上昇をゆるやかにして、ドカ食いを避けることができる
- 糖尿病のリスクを軽減する
- 肝臓病のリスクを軽減する
- 脂肪の燃焼促進
- 大腸がんや肝臓がんといった肝臓の疾患を予防
- 活性酸素を除去し病気リスクを低減
- 胃液の分泌を促進する

※、有用性について、参考資料ですので、広告・販売目的に使用しないで下さい

5、 製法

生コーヒー豆 ➡ 粉碎 ➡ 抽出 ➡ 濾過 ➡ 濃縮 ➡ 噴霧乾燥 ➡ 包装

※ 使用溶媒：水と食用エタノールのみ

6、 原産国

ベトナム (Vietnam)

7、 製品規格

検査項目	規 格	試験方法
性状	浅黄色粉末	目視観察
クロロゲン酸含量	20%以上	HPLC 法
コーヒーポリフェノール (クロロゲン酸類含量)	50%以上	HPLC 法
水分	5.0%以下	カルフィシャー法
強熱残留	5.0%以下	灰化法
重金属 (Pb として)	10PPM 以下	硫化ナトリウム比色法
ヒ素 (As 203 として)	2PPM 以下	DDTC-A g 吸光光度法
一般生菌数	1000 cfu/g 以下	SPC 法
大腸菌群	陰性	BGLB 法

8、 包装形態

NET : 1 kg、 5 kg 内装 : ポリ袋 外装 : アルミ袋

9、 応用例・商品例

コーヒー及びコーヒー飲料・清涼飲料水・ドリンク等を始め、カプセル・タブレット・チューインガム・グミ・クッキー・チョコレート・ウエハース・ゼリー等食品はもちろん、化粧水・ローション・パック・ボディジェル等化粧品にもご利用いただけます。

10、 食品への表示例

コーヒーエキス、生コーヒー豆エキス、コーヒー生豆エキス、
コーヒー抽出物、生コーヒー豆抽出物、コーヒー生豆抽出物

11、 賞味期限

24ヶ月 (室温、未開封)

12、 推奨摂取量

100~200mg/日

13、 関連法規

本品は、食品衛生法及びその他関係法規を順守したものです。